

こんにちは

# 会社訪問記

排出事業者の信頼を得ることを大切に、  
処理技術を前向きに蓄積

## 広久コンクリート工業株式会社

(名古屋市緑区)

愛知県下を中心に、収集運搬、中間処理を行っている広久コンクリート工業株式会社に伺い、事業内容などについて各務社長と広岡常務にお話をいただきました。

— 貴社は中間処理に力を入れているということですが、具体的に何を取り扱われていますか。

各務社長（以下各務に略）『平成4年に建設廃材の破砕を、平成6年に感染性産業廃棄物の焼却をスタートさせ現在にいたっています。両方とも名古屋市から許可をいただいています。この他にも収集運搬の許可を取得して積極的に事業を展開しているところです。』

— 貴社の所在地は国道23号線に近く、まわりは工場も多い。しかも、近隣には住宅地があるわけですが、焼却炉を建設するにおいて大変な苦労があったのではないですか。

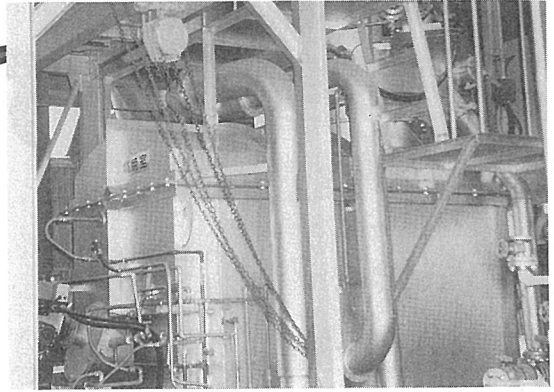
各務『感染性産業廃棄物の取扱いは特に厳しいので、近隣との承諾書を得るのにはいろいろ大変でしたが、誠実に交渉させていただいたおかげで何とか設置することができました。今では焼却炉を導入したメーカーの方が、お客さんを連れて見学に来られるようになりました。当社の焼却炉をモデルケースとして取扱ってもらっていることを、私たちは誇りに感じています。』

— では、焼却炉の維持管理も含め廃棄物を処理するにあたって気をつけていることがあればお話しいただけませんか。

広岡常務（以下広岡に略）『当社は施設の運営を行うにあたり、作業標準書をつくりマニュアル化し



各務社長



焼却炉

ています。事務もすべてコンピュータで管理し、間違いのない体制を整え迅速かつ正確に廃棄物を処理できるように努めています。』

各務『どんな方がいつ当社に来ていただいてもいいように、日報、月報、年報など処理実績をまとめトータルに管理していますから、誰が見てもわかるようにガラス張り状態になっています。やはり、排出事業者や行政、近隣の住民を含め皆さんに信頼を得ることが一番大切ではないでしょうか。』  
広岡『この他にも、焼却作業における異常時の連絡ルートをつくり、設備損傷や環境事故が万一発生した場合に万全に対処できるようにしています。』  
— 適正処理のためにさまざまな取り組みをされているのですね。将来的な事業展望について教えてくださいませんか。

各務『現在の取扱い品目の取扱い量を増やし、業務をさらに拡充させていきたいと考えています。当社は業界での歴史が浅いので、仕事を真摯に、適正処理を心がけていけば、きっと道が開かれるはずと確信し、日々の業務に取り組んでいる次第です。』



社名/広久コンクリート工業株式会社 所在地/名古屋市緑区大高町字西正地45  
代表者/各務康則 創業/昭和46年 従業員/50名 TEL/052(623)5011  
事業所/本社 営業種別/収集運搬、中間処理(焼却、破砕)  
取扱い品目/廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、感染性産業廃棄物